

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-3_スポーツの振興と競技力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_06	社会体育指導者被服貸与
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_16	地域スポーツ育成事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_21	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10525_01	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10542_01	あかがねマラソン大会開催事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10606_01	新居浜市スポーツ未来創造事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_02	新居浜市駅伝競走大会助成事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_17	各種全国大会出場奨励金
5-03-02	競技スポーツの振興	10431_02	競技スポーツ強化事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10442_01	学校スポーツトップアスリート事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10473_02	高校スポーツ強化指定校事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10550_01	愛・野球博開催事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10567_01	ジュニアバドミントン交流事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10605_01	全国高校総体推進事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10611_01	新居浜市合宿支援奨励金
5-03-03	施設環境の整備	10357_01	体育施設環境整備事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10113_06		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	社会体育指導者被服貸与			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	スポーツ推進委員・校区スポーツ普及員	数値	131			
	手段(どうやって)	ユニホームの上下等(ネーム入、役職名等の入った)の被服を貸与する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ推進委員・校区スポーツ普及員の業務に対する意識の高揚を図ることで、地域のスポーツリーダーの役割を果たし、そのことで生涯スポーツの推進に寄与する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			2,228	2,228	1,960	○需用費 2,228千円 @13,500円×1.1×150人=2,227,500	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		2,228	2,228	1,960		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
被服貸与数		目標値			150		-
		実績			131	131	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新居浜市が委嘱しているスポーツ推進委員及び校区スポーツ普及員に対し制服(ユニホーム)を貸与することにより、社会体育指導者としての責務の自覚、連帯感を醸成させ、新居浜市の生涯スポーツの普及への意欲向上を図っている。今後においても現状のまま維持されることが望ましい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
1任期(2年間)ごとの貸与であるため、次年度は予算計上は行わず休止する。(令和6年度実施)							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
委嘱を行ったスポーツ推進委員、普及員にユニフォームの貸与をすることができた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10113_16	
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	地域スポーツ育成事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	各校区体育振興会及び校区住民			数値	115920人	
	手段(どうやって)	各小学校校区に設置されている体育振興会もしくはそれに準ずる組織が、各校区で取り組むテーマを設定し、スポーツやレクリエーションを駆使して事業を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションを通じて市民が健康増進と地域の連帯感を深め、子どもたちの健全育成を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,228	2,300	2,300	1,525	○委託料 2,300千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,228	2,300	2,300	1,525		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
スポーツ教室等参加人数		目標値	6500	6500	6500	6500	6500
		実績	3733	2957	—	3330	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>各校区の体育振興会、総合型地域スポーツクラブ、公民館が主体となり、子どもたちの体力向上、高齢者の健康増進、地域コミュニティの推進、地域スポーツ団体の活動促進に取り組んでいる。コロナ禍の中各地域で感染状況も見ながらの活動を行っている。実施予定は、コロナ禍前までの規模近くまで戻ってきている。各地域の実情に応じた活動内容になっていることから、引き続き本事業を継続していくことが望ましい。(各校区事業を実施中であるため、中間での参加人数は不明。)</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>子どもの体力低下、高齢者の健康問題、地域コミュニティの希薄化等が社会問題化する中、運動やスポーツを通じた諸問題の解消を図るため、校区体育振興会等に地域スポーツ育成事業を委託するものであり、事業費の全体額は維持していく。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業もあったが、参加者数も回復してきており、地域住民の運動機会の提供、スポーツを通じた交流を行うことができた。 (宮西校区・中萩校区については、まちづくり協議会の中で、事業が実施されるため、令和5年度以降は本事業の対象から除くこととする。)</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10113_21		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	知的障がい者児(スペシャルオリンピックス新居浜所屬)	数値	約30人			
	手段(どうやって)	すでに活動しているバドミントンプログラム以外のプログラムメニューの策定					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新たな競技プログラムを開発し、知的障がい者児が行うスポーツの幅を広げるとともに、サポートしてくれる方々の輪を広げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 190千円	
経費		54	190	190	22		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	54	190	190	22		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
年間を通じたプログラム活動数		目標値	0	24	12	24	24
		実績	0	10	—	12	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業が中止になっている。社会的には感染状況を見つ、イベントなども実施されるようになってきているため、今後の事業実施が行われるものと思われる。ただし、実施に際しては、参加者の状況を考慮しつつ適切な判断が必要。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
精神的・肉体的なハンディキャップがある中で、知的障がい者児が社会と関わりや、障がい者児のスポーツ認知を高める重要な機会の創出につながっていることから、予算方針は現状維持とする							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症対策のため、水泳プログラムについては、中止としたためプログラム活動数については、目標に届かなかったが、バドミントン、パラスポ記録会(陸上・水泳)に参加し、スポーツを通して障がいを持つ人達の生きがいや健常者との交流、障がい者児のスポーツ認知を高める機会を創出することができた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10525_01		
事業名(行目名称)		新居浜市文化スポーツ大会開催支援事業費	細事業名	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	本市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の大会	数値	10大会			
	手段(どうやって)	新居浜市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の文化・スポーツ大会に対して、上限100,000円として大会開催奨励金を支出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市において大きな文化・スポーツ大会が開催されることにより、本市の芸術文化及びスポーツの振興を図るとともに、地域経済活性化へ寄与する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○報償費 1,000千円	
経費		0	1,000	1,000	300		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	1,000	1,000	300		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
大会開催数		目標値	12	8	5	10	10
		実績	1	0	3	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>各団体が対策・工夫を行い数年振りに大会開催する動きも見えてきており、昨年は0件だった申請数が本年度は現時点で3件となっている。コロナ禍のため、感染症対策の観点や、施設利用に伴う制限など開催判断を行う主催者の負担は未だ大きいですが、本制度の活用により少しでも主催者の負担が減り、本市での全国大会開催の一助となれるよう、引き続き事業の周知に努めていきたい。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>例年開催している大会に加えて、今年度はこれまで開催実績のない種目からの大会開催の相談などもあったため、1件でも多くの大会開催が本市に定着するよう、現状と同額にて要求したい。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和4年度は3件の申請があり、トータルの参加者数は2,056名、内県外からの参加者数864名であった。新型コロナウイルス感染症の対策を行い、大会の開催が実施されてきており、コロナ禍前の参加者数に戻つつある。引き続き大会開催支援を行い、新居浜市のスポーツ振興、新居浜市を訪れる方の増加を図って行きたい。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10542_01	
事業名(行目名称)		あかがねマラソン大会開催事業費		細事業名	あかがねマラソン大会開催事業		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	マラソン大会参加者		数値	1800人		
	手段(どうやって)	市民マラソン大会をリニューアルさせた「あかがねマラソン」を、山根公園を主会場にハーフマラソンコースをメインに参加者1800人規模のマラソン大会を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一人でも多くの市民の参加を得て、市民がスポーツをするきっかけづくりを提供する。また、市外県外からの参加者を得て、スポーツツーリズムによる地域経済活性化へ寄与する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		5,188	5,171	5,171	5,168	○職員手当等 455千円 ○負担金補助及び交付金 4,716千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	5,188	5,171	5,171	5,168		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
大会エントリー者数		目標値	0	1000	1800	1800	1800
		実績	0	886	937	937	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>昨年は規模を縮小したり参加者の地域を限定して開催したが、本年度は「ウィズコロナ」というところで、基本的な感染対策はしっかりと講じたうえで、3年振りに全国から参加者を募り、定員も増員しての大会開催を実行委員会にて決定した。コロナ禍で大会参加に対するモチベーションが下がっているランナーが多くなっていることに加えて、エントリー期間が市内感染が拡大した時期に重なっていたこともあり、エントリー数は半数程度となっているが、「あかがねマラソン」をきっかけに、スポーツをする、見る、支える市民の皆様が、1人でも多くなることを期待して、12月の開催に向けて関係機関への協力依頼など実行委員会を中心に準備を進めている。協賛企業や関係機関のボランティアスタッフについても例年同様多くの協力を得ている。安心・安全かつ盛大な大会の開催に向け準備をすすめる。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>あかがねマラソンをより本格的なマラソン大会にしていきたいという思いから小中学校の部を廃止し、今年是一般の部のみの1800人の規模とした。コロナ禍ということもあり、エントリー数は半数程度となったため、適正な定員については再度検討していく必要があるが、翌年度以降も大会の方向性としては一般の部のみの開催にしていきたいと考えている。しかし、子どもたちの走る機会を作ってあげたいという思いもあるため、今後、小中学生の部をどういう形にしていけるか実行委員会で検討していきたい。</p> <p>新居浜市の一大スポーツイベントとして、スポーツツーリズムの観点からも、あかがねマラソンによる地域の魅力発信、経済活性化を目標に、回を重ねるごとに満足度の高い大会としていくため現状維持にて要求したい。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>コロナ禍の中での開催ということもあり、エントリー数は定員の半数程度となったが、全国からエントリーがあり認知度がだんだんと高まっており、本市の一大スポーツイベントに成長している。今後は、小中学生などの子どもたちにも走る機会を提供するような方策を実行委員会を通じて検討し、市民が誇れるスポーツイベントにしたい。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10606_01		
事業名(行目名称)		新居浜市スポーツ未来創造事業費		細事業名	新居浜市スポーツ未来創造事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117,439人			
	手段(どうやって)	軽スポーツの普及、競技者の裾野を広げるため、指定管理者が実施している自主事業の拡充を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	指定管理者が新居浜市のスポーツの中心的な役割を担うことで地域スポーツの活性化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		12,461	11,284	11,284	10,487	○委託料 11,284千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	12,461	11,284	11,284	10,487			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
自主事業参加人数			目標値	0	5000	2500	5000	5000
			実績	0	1592	1264	3036	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症の影響により、予定している教室などが一部未実施となっている。今後については、実施事業の日程の調整などを行い予定事業が行えるよう事業団と調整を行っていく。延べ83回の教室を実施								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
ジュニアスポーツの育成の他、軽スポーツの普及など市内のスポーツ(運動)のすそ野を広げるとともに、指定管理者が自立した事業展開ができるよう引き続き取り組む必要があるため、現状維持としたい。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	B: 事業の進め方の改善検討					
新型コロナウイルス感染症の影響も若干残ってはいるが、参加者については順調に増加しつつある。令和6年度の指定管理者の更新に合わせて、指定管理者の自主事業内に組み入れ、本事業の目的である、軽スポーツ、競技者人口の拡大について継続して実施して行くよう、事業の進め方を検討する。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10113_02		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	新居浜市駅伝競走大会助成事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市駅伝競走大会エントリーチーム	数値	33チーム			
	手段(どうやって)	参加者を増加させるべく、関係団体への参加呼びかけ、参加しやすい競技要項への変革を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	協会、地域、学校、行政が一体となって駅伝大会を実施することにより、青少年の体力向上及び市民の健康増進意識の高揚を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 323千円	
経費		281	323	323	281		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	281	323	323	281		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
参加チーム数(チーム)		目標値	0	33	—	33	33
		実績	0	33	—	27	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
新居浜市陸上協会により、11月の大会に向けて準備を進めている。中学校以外のチームがどれほど参加してくれるかが課題である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
本市の掲げる「駅伝の町にいほま」の推進のため、また全国大会で活躍する中学生のモチベーションを保つために、現状維持としたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
市内中学校から男女合わせて27チームのエントリーがあった。新居浜市駅伝大会兼中学校駅伝大会としての開催であるが、中学校以外の参加チームが出ていない現状があるため、今後の事業の進め方について検討していく必要があると考える。本大会は、県中学校駅伝の選考会でもあるため、本大会を廃止する場合には別に選考会を開催する必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10113_17		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	各種全国大会出場奨励金			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	全国大会・国際大会出場選手			数値	約500人		
	手段(どうやって)	全国大会へ出場する選手等へ1人10,000円、国際大会へ出場する選手等へ1人30,000円の奨励金を支出する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	予選大会を勝ち抜いて、全国大会や国際大会へ出場する選手への奨励金を支出することで、今後の選手への励みとなり、本市の競技スポーツの向上と推進を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,540	5,000	5,000	6,240	○報償費 5,000千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,540	5,000	5,000	6,240			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
全国大会・国際大会出場者数 (H30までは出場件数)			目標値	553	480	250	500	500
			実績	120	362	286	616	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
コロナの影響により申請数が激減していた本事業であるが、本年度は“ウィズコロナ、アフターコロナ”に向けた動きが大きく、現状通りとまではいかないが、スポーツ大会の開催も比較的增加ってきており、お問い合わせも頻繁にきている。現時点での申請数は286名で18種目からの申請となっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
個人競技・団体競技含め様々な種目からの申請があり、本事業のニーズは高いと考えられるため、事業の方向としては現状のまま維持するが、支出金額等については見直しを行い、例えば全国大会にて優秀な成績を収めた選手等についてはさらに奨励金を支出するなど、全国大会に出場する選手の更なるモチベーションアップ、成績アップにつながるように事業内容を検討していきたい。また、本事業は、市内でどのような種目が行われているか、どの種目が全国大会に出場しているのかを把握するツールになっているため、引き続き事業PRを進めていきたい。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
令和4年度申請数171件で616名(うち国際大会3件4名)であった。新型コロナウイルス感染症の影響により開催されていなかった全国大会も徐々に開催されてきており、申請件数が多くなっている。結果的に当初予算を上回る申請があったため、令和5年度からは、対象者を大学生以下に限定し、全国大会へ出場する子どもたちの意欲向上を図って行く。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10431_02		
事業名(行目名称)		競技スポーツ強化事業費	細事業名	競技スポーツ強化事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	国民体育大会関連種目協会の選手及び指導者	数値	22団体			
	手 段 (どうやって)	それぞれの種目協会と連携して強化練習や指導者講習会等を開催する。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	ジュニア育成、競技力向上を図り、本市選手が国体で活躍できる環境を整える。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 2,000千円	
経費		1,683	2,000	2,000	1,767		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,683	2,000	2,000	1,767		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
事業実施競技団体数		目標値	10	10	10	10	10
		実績	8	8	—	9	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
感染対策は必要なものの、徐々に活動制限も緩和され、多くの種目協会が工夫をして活動を行っている。 引き続きスポーツ協会を通して各種目協会の活動環境を整えていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
ウィズコロナ・アフターコロナへの動きが高まり、スポーツ分野についても様々な規制が緩和されてきている。コロナ禍で思うように活動できなかった分、翌年度以降も各種目協会により質の高い活動を行っていただき、ジュニア世代の選手の発掘育成、指導者の育成、種目協会選手の強化育成を図る必要があるため、現状維持にて予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
コロナ禍ではあったものの、国体へ向けた競技力の強化のため、種目協会のみならずスポーツ協会を通じてジュニア世代や指導者の育成に精力的な活動が展開されている。そのため、今後も継続して活動を支援していく必要があると考える。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10442_01		
事業名(行目名称)		運動部活動競技力向上事業費	細事業名	学校スポーツトップアスリート事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内中学生及び高校生対象部員	数値	約1700人			
	手段(どうやって)	トップアスリートを招聘し、トレーニングの実践及びトップクラスの専門的技術指導、また講義も含めた幅広い講習会を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	トップアスリートを招聘し、生徒たちの競技力の向上及び指導者の指導力向上に努め、体力低下に歯止めをかけるとともに、個々の種目における競技力の向上を図る。また、将来的に全国大会で活躍できる選手育成や選手強化に結び付けていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		812	3,466	3,466	1,960	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,450千円 ○旅費 1,482千円 ○需用費 165千円 ○委託料 369千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	411	1,000	1,000	543		
	一般財源	401	2,466	2,466	1,417		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
県大会出場校の上位入賞率		目標値	40	40	40	40	40
		実績	25.6	24.3	24.2	21.6	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>本年度についても依然としてコロナの影響は大きく、部活動の制限などにより、実施できていない競技はあるものの、可能な限りクリニックを実施している。バドミントンについては、高校2回、中学校1回開催しており、その他の競技については、年度末での実施が多いため、事業実施に向けて各競技担当の先生等と準備を進めている。</p> <p>トップアスリートとの交流は、コロナ禍でスポーツに対する意欲が下がっている生徒たちのモチベーションアップにつながると思うので、基本的な感染症対策を講じ、計画している全てのクリニックが開催できるように進めたい。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>競技などに応じて「選手全体の競技力の底上げ」と「トップ層選手たちの更なる競技力の向上」2つの柱で、より効果的に事業が実施できるように学校やトップコーチと連携をとっていく。また、新たなトップコーチの獲得にも力を入れ、本市選手たちの更なるモチベーションアップに努めたい。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
<p>コロナ禍によって事業の実施が大きく左右されることから、中止を余儀なくされている競技種目がある中で、バドミントンを中心として継続的に事業実施ができていく種目では着実に成果を上げている。そのため、今後はコロナの終息とともに、より一層各種目の活動も活性化されることが予想されることから、事業のさらなる継続が望まれる。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10473_02		
事業名(行目名称)		学校スポーツ活性化事業費	細事業名	高校スポーツ強化指定校事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内高校指定運動部		数値	7部活動		
	手段(どうやって)	市内の各高校が強化を希望する部活動のうち、教育委員会が認めたものを強化指定校(部活動)として補助金を支出する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国大会出場常連校など、市内の中学生アスリートが進学したいと思うような、魅力ある高校部活動を目指して、競技力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 4,275千円 新居浜東高 バドミントン部(730千円) ヨット部(450千円) 駅伝部(680千円) 陸上部(450千円) 新居浜商業 バスケットボール部(550千円) 新居浜工業 ウエイトリフティング部(660千円) 新居浜南高 ウエイトリフティング部(750千円)	
経費		3,139	4,275	4,275	4,264		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,139	4,275	4,275	4,264		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
全国大会出場部活動			目標値	7	7	7	7
			実績	3	5	4	6
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
本年度もコロナの影響により、顧問の先生から当初計画していた強化合宿や県外遠征などが中止や延期となってしまったという相談は受けたものの、自校での強化練習や近隣への遠征など、各部活動が工夫を行い、より質の高い練習を行っている。本市で開催されたインターハイのウエイトリフティング競技では、指定部活動である南高と工業の生徒が優秀な成績を収めており、事業の有効性は高いと考えられる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
引き続き指定部活動の強化に努め、質の高い練習環境を提供していくため現状維持にて予算要求したい。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
コロナ禍でもそれぞれの部活動が工夫し可能な範囲で遠征や強化合宿を行い、練習環境整備と合わせて、競技力の向上を図ることができた。インターハイへの連続した出場や全国大会での入賞者の増加など、継続した事業の実施により一定の成果が表れているため、当事業を活用してより質の高い充実した練習環境を整えてもらい、全指定部活動の全国大会出場を目標とする。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10550_01		
事業名(行目名称)		愛・野球博開催事業費	細事業名	愛・野球博開催事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	2022プロ野球オールスターゲーム関連イベント	数値	1事業			
	手段(どうやって)	令和4年度に松山市で開催されるプロ野球オールスターゲームを愛媛県下全域で盛り上げるため、各種イベント等を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	オールスターゲームの開催により、県内の野球振興や地域振興に繋げるほか、愛・野球博のレガシーを築き上げることで、野球文化の持続的な定着を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		600	600	600	600		
財源	県・国支出金	300	300	300	300		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	300	300	300	300		
○負担金補助及び交付金 600千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
新居浜市における事業実施回数		目標値	2	1	1	1	0
		実績	2	1	1	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
<p>オールスターゲームを盛大に開催する機運を醸成するため、出場選手投票の周知などPR活動を実施した。また、予定どおりオールスターゲームが開催され各市町からも視察を行い、事業目的を達成した。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
<p>事務事業の目的を達成したことから、翌年度の予算は不要。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>令和4年度については、県実行委員会の主催事業に対する広報活動などの支援業務を行ったが、今年度をもって事業は終了した。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10567_01	
事業名(行目名称)		ジュニアバドミントン交流事業費		細事業名	ジュニアバドミントン交流事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	ジュニアバドミントン交流大会			数値	1大会	
	手段(どうやって)	大府市と新居浜市において隔年で主催を持ち回り、ジュニアバドミントン交流試合を行うことで、両市の交流を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市と大府市のジュニアバドミントン交流試合を継続的に開催することで、選手及び指導者の交流を深める。ひいては、本市ジュニア選手の育成及び競技力の向上を目指すとともに、大府市との交流をさらに深化させていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			587	587	465	○職員手当等 107千円 ○報償費 170千円 ○需用費 267千円 ○使用料及び賃借料 43千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		587	587	465		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
事業開催数			目標値		1	1	1
			実績		1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和元年度に大府市にて開催された交流大会を、本年度は第2回交流大会として8月20日、21日で新居浜市にて開催した。大府市選手団として男子7名・女子5名(コロナにより2名欠)、新居浜市選手団として男子7名、女子7名が、交流大会に参加し、両市の交流を深めることができた。また、両市選手にとって良い刺激となっていた。合同練習会の際は、新居浜市東高等学校及び新居浜工業高等学校のバドミントン部にご協力いただき、選手や先生がトップアスリート事業等で増った練習方法などを小学生に向けて指導していただくことができ、大府市からもよい経験になったという言葉をいただいた。大府市についても翌年度以降の事業継続を望んでいるため、大府市及び新居浜市バドミントン協会と入念な打ち合わせを引き続き行っていく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
大府市・新居浜市都市間交流の一環として開催する両市のジュニアバドミントン選手による交流大会は、両市で交互に開催されるものであり第1回は大府市(令和元年)、第2回は新居浜市(令和4年)で開催している。(令和2年3年については、オリンピック、コロナの影響により延期。)大府市も翌年度以降の事業実施を望んでおり、令和5年度の第3回は大府市で開催されることになるため、選手団の大府市への派遣費が必要となることから、増額して要求する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度は大府市より選手・引率者を含め36名が新居浜市に来られた。市内バドミントン選手との交流大会、本市の代表観光施設マイントピア別子を見学するなど交流を実施した。また、大府市長、大府市議会議員・副議長もお越し頂き、大府市との都市間交流を深めることができた。相互訪問であるため令和5年度は、大府市への訪問を行う。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10605_01		
事業名(行目名称)		全国高校総体推進事業費	細事業名	全国高校総体推進事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	インターハイ出場者等	数値	約4000人			
	手段(どうやって)	令和4年度四国ブロックで開催される全国高校総体は、新居浜市でウエイトリフティング競技が行われる。大会の成功に向けて、愛媛県とも連携し、円滑な準備と大会運営に取り組む。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国から集まる高校生選手等の一生の思い出となるよう、素晴らしい大会の開催を目指すとともに、ウエイトリフティングによるまちづくりの確立に貢献する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,164	9,115	9,115	8,078	○職員手当等 652千円 ○負担金補助及び交付金 8,463千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,164	9,115	9,115	8,078		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
大会参加者等来市者数		目標値	0	0	4000	4000	0
		実績	0	0	5174	5174	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
コロナ禍のため、予定していた事業内容に一部変更が生じたものの大会が無事に終了し当初の事業目的は達成された。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
大会の終了により事務事業の目的が達成されたことから翌年度予算は不要。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)	D:事業の統合・休廃止を検討					
コロナ禍で予定に一部変更が生じたものの、全国から高校生選手が一堂に会し、予定期日どおり大会が無事に開催され、成功裡に終了した。また、残務処理や次期開催地への引継ぎも滞りなく進めることができ、年度末には実行委員会を解散して事業の全てが終了した。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10611_01			
事業名(行目名称)		新居浜市合宿誘致事業費	細事業名	新居浜市合宿支援奨励金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外のスポーツを行う団体		数値	約1000人			
	手段(どうやって)	1回のスポーツ合宿において10万円を限度として支出する。 (延べ宿泊数に1泊あたり1000円(簡易宿泊施設は500円)を乗じて得た額)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ団体等が市内体育施設を活用したスポーツ合宿を実施することにより、本市のスポーツ振興や地域経済活性化、交流人口の増加を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	1,000	1,000	486	○報償費 1,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	1,000	1,000	243			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
合宿宿泊者数(延べ)			目標値	0	1000	500	1000	1000
			実績	0	0	148	258	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
昨年はコロナの影響によりお問い合わせはあったものの申請数は0件であったが、今年度は現時点で2件の申請があり、お問い合わせも増えてきている。まだ新しい事業であるため、引き続き広報に努め、合宿誘致を図りたい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
新設された重量挙げ練習場やリニューアルした市民体育館をうまく活用して引き続き事業のPRを図り、合宿誘致に努めていきたいため現状維持で要望する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
令和4年度は3件の申請があり、合計で108人参加、延べ258泊であった。引き続き市内の体育施設、宿泊施設を利用した合宿を誘致し、市内施設の活性化を図って行きたい。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10357_01		
事業名(行目名称)		体育施設環境整備事業	細事業名	体育施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	施設環境の整備	担当課	スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	115920人		
	手段(どうやって)	施設及び設備の設計委託と改修。備品の更新及びルール変更に伴う新規購入。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い適正な施設の管理運営を図り、体育施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境を提供し、施設利用者の増加を図る。また、施設の不備による臨時の休館をしないように適正な管理をしていく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		32,611	16,025	16,025	14,412	○職員手当等 43千円 ○工事請負費 15,982千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	12,000	11,500	11,500	10,100		
	その他	15,443	1,036	1,036	900		
	一般財源	5,168	3,489	3,489	3,412		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
体育施設利用者数		目標値	400000	400000	200000	400000	400000
		実績	332399	244922	207195		—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
各体育施設の改修等工事により、快適にスポーツを行える環境の整備が進められている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
各体育施設の老朽化は進んでおり、利用者に安心・安全に施設を利用していただくには多くの改修が必要であるため、今年度の予算規模から拡大して予算要望を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
市営野球場変電設備改修、弓道場防矢フェンス設置、成運動公園トイレ改修、山根温水プール屋上防水改修の工事を予定通り行った。体育施設の老朽化が進む中で、利用者の安全等を考慮しながら改修工事を計画的に実施して行く。							